

石岡市新庁舎建設工事
平成30年10月 完成予定

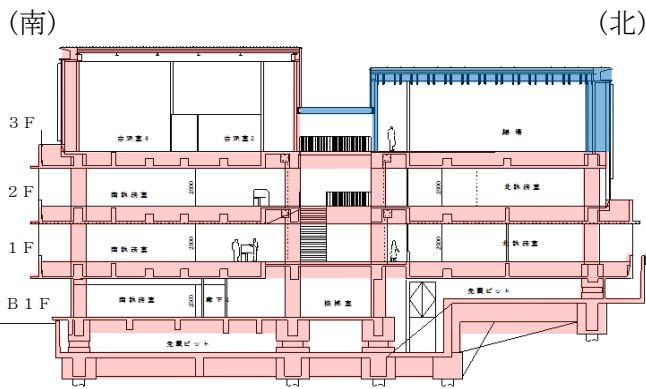
【進捗状況 No. 09】

平成30年8月31日現在

- 屋根（鉄骨建方・構造木）
- 各フロア内装・設備工事

現在、屋根の鉄骨工事および構造木設置工事を行っています。

各フロアでは、電気・機械設備工事や内装工事が進められています。



【躯体作業状況】

3F床までの躯体と南側の鉄骨建方(赤色)が完了し、北側鉄骨屋根工事(青色)を進めています。



【全景（平成30年8月30日）】



【屋根工事】

鉄骨屋根は、南側の鉄骨建方が完了し、現在、北側の鉄骨屋根工事を進めています。同時に、屋根の構造木の取付け工事も行っています。



【B1F内装】

各フロアでは、電気・機械設備工事や内装工事が進められており、B1Fでは壁クロス貼り及び床のタイル貼りが進められています。



【屋根の構造木】

写真のような構造をした木の天井が、新庁舎の特徴の一つとなります。複雑な構造をしているため、写真(右)のようにユニットを組み立てた後、クレーンで吊り上げ、鉄骨屋根に取り付けていきます。天井内は、設備用の配管や配線が通るため、構造木には配管用の穴が設けてあります。



【OA床】 1F執務フロアに鋼製床が設置されました。床下には約1,100mmの空間があり、空調ダクトや各種配管が設置されています。



【天井貼り(B1F)】 天井内の配管・配線が終わると、軽量鉄骨の骨組みの上に、石膏ボードによる天井貼りを行っていきます。



【自家発電設備】 防災拠点として停電時に対応できるように、72時間の運転を想定しています。



【防火水槽】 新庁舎北側に、消火用の水を貯めておくための防火水槽を設置しました。